

平成 21 年 9 月 14 日

(各 位)

ダム工学会

会 長 阪田 憲次

平成 21 年度 ダム工学会東北地区 現場研修会開催のご案内

拝啓、時下ますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ダム工学会の平成 21 年度現場研修会を、下記のとおり開催することと致しました。皆様各位のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- ・ 日 程 平成 21 年 10 月 22 日 (木) (日帰り)
(集合場所および集合時間は別紙－1 参照)
- ・ 見学場所 東北地方整備局 胆沢ダム (岩手県奥州市)
- ・ 講 演 会 日本大学工学部土木工学科 中村晋教授 外
- ・ 募集人数 別紙－1 のとおり
- ・ 参加申込 別紙－2 申し込み書に記入 (平成 21 年 10 月 9 日 (金) 〆切)
- ・ 参 加 費 一般：1,000 円
学生：無 料
(ただし、集合会場まで及び解散場所後の交通費は各自負担)

問い合わせ先 ダム工学会 活性化推進小委員会 東北ブロック幹事会事務局
(株) ニュージェック 東北支店
播磨 進

TEL. 022-301-7611

FAX. 022-301-7600

E-mail. harimass@newjec.co.jp

募集内容

- ・ 募集人数 50 名（ダム工学会員及び非会員 定員になり次第締切り）
- ・ 申込期限 平成 21 年 10 月 9 日（水）午後 3：00
- ・ 申込方法 申込用紙に所定事項をご記入のうえ FAX 願います。
（内容をメールにて送付いただいても結構です。）
- ・ 申 込 先 〒981-0912
仙台市青葉区堤町 1-1-2 エムズ北仙台
（株）ニュージェック 東北支店 播磨 進
FAX. 022-301-7611 E-mail. harimass@newjec.co.jp

1. 集合場所 平成 21 年 10 月 22 日（木）8：50 仙台駅西口バスプール（別紙-4 参照）
或いは 11:00 胆沢ダム学習館（直接現地）
2. 解散場所 平成 21 年 10 月 22 日（木）16:20 胆沢ダム学習館
或いは 18：30 仙台駅西口バスプール
3. 用意するもの 作業服（又はそれに準ずる服装）、防寒具、長靴、（雨天の際は雨具）
（注）ヘルメットは胆沢ダム「学習館」から借用します。

行 程（案）

項 目	時 刻	内 容	備 考
集 合 J R 仙台駅西口	8：50 集合 9：00 発	仙台駅西口を出て 1 F 仙 台西口バスプール	新幹線上り 8:30、8:51 着 新幹線下り 8:37、8:46 着
バス移動	9:00～11:00	胆沢ダムパンフレット、当 日の講演資料配布	
講 演 会 胆沢ダム 『学習館』にて	11：10～11：55	仮題：胆沢ダムの事業概 要について	国土交通省東北地方 整備局 胆沢ダム工事事務所 長
昼 食	12：00～12：30	お弁当	ひめかゆ
	12：30～12：40	ヘルメット等の借用	胆沢ダム学習館にて
現場見学 （胆沢ダム 本体他）	12：40～15：10 約 2.5 時間 ※	学習館→左岸天端展望台→原石山他（調整中）	
	15：10～15：15	ヘルメット等の返却	胆沢ダム学習館にて
講 演 会 胆沢ダム 『学習館』にて	15:15～16：15	仮題：地盤構造物の耐震 について	日本大学工学部土木工 学科 地震工学研究室 中村 晋 教授
胆沢ダム『学習 館』	16：20 発		
J R 仙台駅	18:30		

※見学会は台風等荒天ではない限り雨天でも実施します。

※見学コースは現場状況により変更があります。

※本研修会は継続教育（CPD）プログラムとして、土木学会より認定されています。

参加申込書

平成 21 年 月 日

FAX. 022-301-7600

ダム工学会 活性化推進小委員会

東北ブロック幹事会事務局（（株）ニュージェック東北支店 播磨） 御中

平成 21 年度 ダム工学会東北地区部会 見学会開催のご案内

日 程 平成 21 年 10 月 22 日（木）

集合場所 10 月 22 日（水）集合場所 8：50 JR 仙台駅西口バスプール
或いは 11：00 胆沢ダム学習館（直接現地）

・所 属 名

・住 所 〒

・連絡担当者

TEL . ()

FAX . ()

メール . ()

・参 加 者

所属・役職名	氏 名	連絡先・TEL、FAX (上記と異なる場合)	集合場所（いずれかに○）	
			仙台駅（バス）	直接現地

注）＊集合場所までの交通機関については参加者各自にてご手配ください。（帰路も同様）

ダム工学会活動に関する主旨（ダム工学会設立趣意書より抜粋）

ダム工学会は、国内における関連学協会はもとより、国際的な学協会及び研究機構との連携を図り、国際的な研究交流と協力においても先導的役割を果たすとともに、学者、研究者のみならず官界、民間の技術者にも広く参加・協力を求め、技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元を目指す。

以上の趣旨に基づき、本学会は、

1. 学際的かつ総合的研究を重視する。
2. 新技術の開発・応用など、創造的、先導的な研究を重視する。
3. 学際問題への適用を図るために、学、官、民の研究者、技術者の交流を促進する。
4. 国際的な交流と協力を積極的に図る。

を4つの柱として、ダム工学研究の向上発達を図ることを目的とする。具体的には、次のような活動を予定している。

1. 学術講演会、シンポジウム、現地見学会などの実施
2. 学会誌「ダム工学」の発行
3. ダム工学に関連する国内外の研究活動、会議等に関する情報の収集と伝達
4. 特定研究テーマに関する研究部会活動

(いくつかの研究部会を設け、横断的研究ならびに学、官、民の交流を推進する。)

ダム工学会地区活動について

平成17年6月20日開催のダム工学会第31回理事会において、地域ごとに学・官・民が情報交換できる機会を多く設けるため、ダム工学会の各地区活動を積極的に行うことが了承されました。

具体的には、各地区において現場見学会や技術検討会の開催等を行うことにより、地方在住の学・官・民の交流による情報交換、或いはダム工学の活性化を深めていくものです。

集合日時：平成 21 年 10 月 22 日（木） 8：50

集合場所：仙台駅西口バスターミナル（下図参照）

連絡先：090-4636-6655（播磨進）

